

平成16年(行ウ)第68号 公金支出差止等請求事件

原告 村越啓雄 外50名

被告 千葉県知事 外2名

証拠説明書(甲E号証関係)

2006(平成18)年8月4日

千葉地方裁判所民事第3部合議4係 御中

原告ら訴訟代理人弁護士

同

同

同

同

同

同

同

同

同

菅野 泰

廣瀬 理夫

中丸 素明

有坂 修一

井出 達希

植竹 和弘

拝師 徳彦

及川 智志

島田 亮

山口 仁

明中弁
之丸護
印素士

明中弁
之丸護
印素士

明中弁
之丸護
印素士

有坂護
印修士

希井護
印達士

明中弁
之丸護
印素士

明中弁
之丸護
印素士

明中弁
之丸護
印素士

明中弁
之丸護
印素士

明中弁
之丸護
印素士

※原本欄：「○」→原本，「空欄」→写し

証拠番号	証拠の標目	作成者	作成年月日	立証趣旨など	原本
甲E1	八ッ場ダム建設事業	建設省関東地方建設局 八ッ場ダム工事事務所	平成11年 8月	八ッ場ダム建設事業における環境保全対策及び生活再建対策の内容等	
甲E2	八ッ場ダム環境影響評価書	建設省関東地方建設局	昭和60年 11月	八ッ場ダム建設事業に関し実施された環境アセスメントの内容等	
甲E3	代替地分譲価格表（宅地）	国土交通省	平成15年 12月ころ	国土交通省が地元住民に対し提示した代替地分譲価格の内容等	
甲E4	生物の多様性に関する条約			「生物の多様性に関する条約」の規定内容	
甲E5	国際環境事件案内（抜粋）	磯崎博司他編集、信山社出版(株)発行	平成13年 6月20日	条約の一般的受容と国内序列、生物多様性条約の直接適用可能性及び同条約14条の解釈等	
甲E6	世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約			「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」の規定内容	
甲E7	平成15年八ッ場ダム周辺自然環境検討業務にあたって（抜粋）	群馬県自然保護連盟	平成15年 度	八ッ場ダム建設に伴う自然環境調査としてまともな調査が行われていない事実等	

甲E8	H14ハツ場ダム環境調査（その2）報告書（抜粋）	(株)建設環境研究所	平成15年6月	平成14年8月～10月にコウモリの捕獲調査が行われた事実及びその内容
甲E9	H16ハツ場ダム周辺地域猛禽類調査報告書（抜粋）	国土環境(株)	平成17年3月	ハツ場ダム周辺地域において種の保存法により指定されている国内希少野生動植物として、イヌワシ、クマタカ、オオタカ、オジロワシ、ハヤブサの5種の生息が確認されている事実等
甲E10	絶滅のおそれのある野生動植物の国内取引管理（抜粋）	環境庁野生生物保護行政研究会編集，中央法規出版(株)発行	平成7年10月25日	環境省の実務において動物の場合を「殺傷」、植物の場合を「損傷」と区別している事実等
甲E11	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（抜粋）	環境庁野生生物保護行政研究会編集，中央法規出版(株)発行	平成5年7月10日	種の保存法の制定経緯及び自然環境保全審議会の答申内容等
甲E12	保全生物学（抜粋）	樋口広芳他編集，財団法人東京大学出版会発行	2003年6月13日	ダム建設が生態系の破壊と生物多様性の減少の原因となっていること等

甲E13	H15ハッ 場ダム周辺 地域猛禽類 調査報告書 (抜粋)	国土環境株	平成16年 3月	ハッ場ダム周辺地域に おいて種の保存法によ り指定されている国内 希少野生動植物として、 イヌワシ、クマタカの 営巣等が確認されてい る事実等
甲E14 の1ない し3	新聞記事	上毛新聞社	平成10年 11月28 日、同11 年2月5 日、同年1 0月28日	下久保ダムの建設によ り名勝三波石峡の景観 が失われてしまった事 実等
甲E15	暮らしや生 きものをま もる中和事 業	国土交通省 関東地方整 備局品木ダ ム水質管理 所		中和工場により湯川を はじめとする酸性河川 の水質の40%が改善 されている事実等
甲E16	平成16年 度公共用水 域水質測定 結果	環境省水・ 大気環境局	平成17年 12月	平成16年度公共用水 域水質測定におけるト リハロメタンの状況等